

8.7 エコマテリアル

8.7.1 調査事項

調査事項は、表 8.7-1 に示すとおりである。

表8.7-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・環境物品等調達方針
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」に基づき、資材等の調達を行い、環境影響物品等の使用抑制を図る。 ・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、積極的に適用品目を利用する計画である。 ・「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」（平成27年3月 東京都）を踏まえ、コンクリートの使用にあたっては、エコマテリアルの利用について検討する。 ・資材の搬入、副産物の搬出にあたっては、あらかじめ再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。 ・大会組織委員会が調達する木材を対象とした「持続可能性に配慮した木材の調達基準」が策定され、当該基準を尊重するよう働きかけを受けていることから、その趣旨に基づく木材の調達に可能な限り努める計画である。 ・エコマテリアルの使用状況については、フォローアップで確認する。

8.7.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.7.3 調査手法

調査手法は、表 8.7-2 に示すとおりである。

表8.7-2 調査手法

調査事項	エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	
調査時点	工事の施行中とした。	
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	工事中の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理による方法とした。

8.7.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の状況

ア. エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

本事業における、エコマテリアルの利用状況は、表 8.7-3 に示すとおりである。建設工事に当たっては、「平成 28 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。

表 8.7-3 エコマテリアルの利用状況（特別品目）

品目分類	品目名	単位	数量
建設発生土の有効利用を図るもの	建設発生土	m ³	10,580
熱帯雨林材等の使用を抑制するもの	環境配慮型型枠	m ²	25,596
コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊等の有効利用を図るもの	再生クラッシュラン	m ³	594
	再生砕石（擁壁等裏込め用）	m ³	48
	再生粒度調整砕石	m ³	170
	再生砂	m ³	550
	再生加熱アスファルト混合物	t	393
	再生骨材Lを用いたコンクリート	m ³	307
都内の森林再生のため多摩産材の有効利用を図るもの	多摩産材を用いた建築材料	m ³	2
温室効果ガスの削減を図るもの	高効率空調用機器（熱源機器）	台	19
	高効率空調用機器（熱源以外の空調機器）	台	1
	LEDを光源とする照明器具	台	1,335
	ノンフロン断熱材	工事数	1
その他環境負荷の低減に寄与するもの	LEDを光源とする非常用照明器具	台	135
	照明制御システム	台	2
	環境配慮形（EM）電線・ケーブル	m	8,169
	RoHS指令対応電線・ケーブル	m	2,882
	電炉鋼材などのリサイクル鋼材（棒鋼）	t	786
	電気便座	台	77

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.7-4 に示すとおりである。

表8.7-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> 「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」に基づき、資材等の調達を行い、環境影響物品等の使用抑制を図る。 	<p>「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」に基づき環境影響物品の使用低減に努めた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、積極的に適用品目を利用する計画である。 	<p>「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」における特定調達品目に掲げられている建設資材を可能な限り調達した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」（平成27年3月 東京都）を踏まえ、コンクリートの使用にあたっては、エコマテリアルの利用について検討する。 	<p>工事の実施に当たっては、再生骨材コンクリート等のエコマテリアルを調達した。（写真8.7-1）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 資材の搬入、副産物の搬出にあたっては、あらかじめ再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。 	<p>工事の実施に当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 大会組織委員会が調達する木材を対象とした「持続可能性に配慮した木材の調達基準」が策定され、当該基準を尊重するよう働きかけを受けていることから、その趣旨に基づく木材の調達に可能な限り努める計画である。 	<p>型枠ベニヤにはPEFC認証合板を使用した。（写真8.7-2）</p>
<ul style="list-style-type: none"> エコマテリアルの使用状況については、フォローアップで確認する。 	<p>エコマテリアルである環境配慮型型枠や再生砕石等の使用をフォローアップで確認した。（写真8.7-1～3）</p>



写真 8.7-1 リサイクル材料使用



写真 8.7-2 型枠ベニヤ PEFC 認証材のマーク

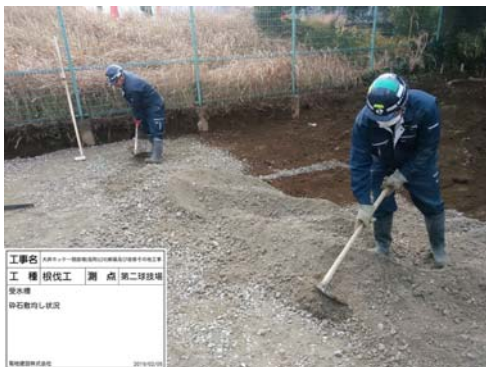


写真 8.7-3 再生砕石利用

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

建設工事に当たっては、「平成 28 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」や「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」等に基づき、建設資材等の環境物品等（再生骨材コンクリート等）の調達や環境影響物品等の使用抑制を図ることにより、エコマテリアルの利用が図られた。

以上のことから、予測結果と同様に、エコマテリアルの利用への取組・貢献は図られていると考える。